



久喜フォークソング同好会  
砂川 隆秀  
090 - 4534 - 8857  
東公民館集会所  
毎月第一木曜日 15時～17時

久喜フォークソング同好会は、いつでも誰でも自由に入会できる音楽サークルです。月1回の定例会では、主宰するフォークデュオ「青い風」などのギター伴奏に合わせて皆で楽しくフォークソングを歌っています。

同好会は発足して7年を経過し、現在では100名を超える会員が定例会参加の他にも年2回の「久喜フォークソングライブ」を主催しつつ「街かどコンサート」「オレンジコンサート」「東日本復興支援コンサート」や各種公民館行事などにも参加して、音楽で久喜市を盛り上げています。

初心者を対象に「弾き語りギター教室」も併設し、フォークソングの輪を広げています。大きな声で歌うことは健康にも良く、仲間づくりにも役立ちます。

定例会が行われる東公民館には毎回多くの会員（中高年が中心）が集まり、笑顔の絶えない時間を楽しんでいます。初めての方は体験入会も可能ですので、気軽にお越しいただければ幸いです。



三線（みすじ）会  
榎本 千恵子  
森下公民館  
月2～3回水曜日 9時30分から

私達三線（みすじ）会は、和楽器の三味線を弾いて楽しむ会です。会員は14名で、藤村君代先生の優しくも熱心なご指導をいただきながら活動しています。

私達の普段の生活では三味線に触れることは少ないと思いますが、音色を耳にすることはあるでしょう。どこか懐かしく心落ち着く音色だと思いませんか。私達はこの音色が好きな仲間が集まり、会が出来てから4年程経ちます。

以前に三味線を経験した人や長年親しんできたベテランもいます。発表会が年2～3回あり、ボランティア活動もしています。少しずつですが演奏できる曲も増えてきました。

新しい楽譜で練習を重ねて、次第に音が合うようになり、全員の息が合い、一つの曲が完成に近づく時はとても喜ばしい気持ちです。まだまだ未熟な私達ですが、一に練習二に練習で頑張っています。いつまでも楽しみながら、潤いのある生活を続けていきたいものです。

久喜市生涯学習だより

まなびすと久喜

平成31年1月1日 発行

第17号

編集：久喜市生涯学習推進部  
発行：久喜市教育委員会

「ずっと久喜市に住み続けたい」と思える、魅力あるまちづくりを目指して



久喜市長 梅田 修一

私は、久喜市民大学第22期生として「まちづくり」や「ひとづくり」について学びました。久喜市の歴史や文化についての学習や生涯学習推進大会「まなびすと久喜」、市内福祉施設でのボランティア体験等、実践的な生涯学習を通して市民の皆様が生涯学習の輪を広げ、郷土愛を醸成するとともに、実践的に地域に貢献できる人材育成の重要性を実感しました。

「人生100年時代」と言われるなか、久喜市では生涯学習事業として、市民大学や高齢者大学での学習の機会を提供、生涯学習推進大会「まなびすと久喜」や放課後子ども教室（ゆうゆうプラザ）等の多世代間交流活動などを通して、いきがいやふれあいを高め、より豊かな社会づくりを目指しています。

生涯学習の主役は「ひと」であり「ひと」は久喜市の宝です。私は、生涯学習の基本は「ひとづくり」であると思っています。市民大学や高齢者大学などで人材を育成し、この方たちが地域

のリーダーとなって活躍していただけたら、本市はさらに発展すると信じています。

この度、東京理科大学久喜キャンパス跡地活用計画の見直しを図り、生涯学習センターの整備を計画しています。この施設は、市民大学や高齢者大学の学び舎となるとともに、本市における生涯学習活動の拠点となります。また、保健センターや子育て支援センターも併設し、小さなお子さんから子育て中の保護者の方々、生涯学習活動に取り組む幅広い年齢層の多くの皆様が集う場となります。この施設から次世代を担う人材が育つものと確信しています。

本年は新市合併から10年目を迎えます。久喜市が更なる飛躍を遂げるために、これまでのまちづくりの良い部分はしっかりと継続・発展させ「オール久喜」の体制で、市民の皆様が合併してよかったと思える「まちづくり」を全力でチャレンジしてまいります。

久喜市内学校紹介

- ★所在地 久喜市佐間 266 番地 1
- ★電話 0480 (52) 0215
- ★創立 明治6年3月15日
- ★校長名 白石 二三恵
- ★児童数 129名 (10月1日現在)
- ★学級数 7学級 (10月1日現在)
- ★学校教育目標
  - かしこい子「自ら考える子」
  - やさしい子「思いやりのある子」
  - たくましい子「挑戦する子」



久喜市立栗橋西小学校



- ★所在地 久喜市本町 2 丁目 5 番 1 号
- ★電話 0480 (21) 0054
- ★創立 明治6年1月
- ★校長名 穂村 憲久
- ★児童数 465名 (11月12日現在)
- ★学級数 16学級 (特別支援学級2学級を含む)
- ★学校教育目標
  - 「賢く」「豊かに」「たくましく」
  - 自分づくりを目指す潤いと
  - 活気あふれる学校づくり
  - ～自他共に認めるNo.1
  - スクールを目指して～

久喜市立久喜小学校

久喜小学校は、江戸時代後期に設立された郷学「遷善館」の教えや思いを受け継いだ伝統校です。明治6年1月の開校以来、146年目を迎え、「自他共に認めるNo.1スクール」を目指し、教職員・保護者・地域が一丸となって教育に取り組んでいます。今年度、三者が協働し再生したピオトップ（自然生態系観察園）では、今日も児童の笑顔が輝いています。

あめでとろ 銅メダル

第8回生涯学習推進大会パネラー 酒井園実さん  
アジアパラ大会・女子走り幅跳びにて銅メダルに輝きました。

第9回 生涯学習推進大会 まなびすと久喜

平成31年2月2日(土)・3日(日)

会場 久喜市中央公民館 全館・屋外

大会テーマ 新たな学びの発見！ 広がる学びの輪

1日目 2月2日(土) 午後1時～4時

2日目 2月3日(日) 午前10時～午後3時30分

開会式 まちづくりフォーラム：大集会室

まなびすと発表会・各イベント

- 1部 基調講演  
文教大学 人間科学部 栗原 保氏
- 2部 パネルディスカッション

- ゆうゆうプラザ・市民サークルの演技発表
- 市内文化サークルの活動紹介と体験コーナー
- 喫茶、軽食コーナーもあります

人生100年時代到来! 65歳以上は全国総人口の28%、4人に一人が65歳以上、100歳以上の高齢者は69,000人を超えています。長き人生を楽しく豊かに輝かしい生活を送ることは誰しもの願いです。それには、生きがいを持つことではないでしょうか。高齢者であればリタイア後も勤める、老人クラブに参加する、高齢者大学で学ぶ、また現役時代の能力を生かした活動や、新たにチャレンジする活動をしていくことで生きがいにつながっていきます。また、老若男女を問わず趣味・サークル活動、自治会活動、ボランティア活動、地域のイベントに参加、また市民大学で学んだりすることもよいでしょう。即ち社会とつながり、人と関わり合うことが重要です。

なかなか、一歩が踏み出せない、きっかけをどう見つけるか等悩んでいる方も多いことと思います。そこで、現在初めの一歩を踏み出し、地域社会で活躍されている4名の方を紹介いたします。さあ、皆さんも地域デビューをしてみませんか。

**不破 康史さん (71歳) 久喜地区**

- A1 自治会の役員を勤められ、夜間のパトロールや夏祭りへのお手伝いがスタートとなりました。
- A2 自治会活動も同世代の人たちが中心となって活動していたことやテレビや雑誌で、定年退職後の地域へのソフトランディングについて話題になっていたのも影響があったのかもしれません。
- A3 自治会活動で知り合った地域の仲間と一緒に、地元小学校の放課後子ども教室の実施委員・サポーターとして楽しく遊んでいます。
- A4 活動することで、地元だけでなく他地域の人たちとも交流する機会が増え、同じ飲み会でもサラリーマン時代とは別の楽しい体験ができます。
- A5 きっかけは自分で求めるものだと思います。幸いにもお声がかかったら躊躇することなく「まず、やってみなはれ」と言いたいです。地域には、色々な個性に溢れた人がいますよ。面倒なこともあるけれどそれを面白がって楽しむこともあります。



**戒能 実羽さん (18歳) 鷲宮地区**

- A1 小学校2年生の4月に入会し、10月の鷲宮コスモスフェスタの舞台上で演奏したのが私の初めの一歩でした。
- A2 地域の舞台で楽しそうに演奏している友人たちを見て、和太鼓に興味を持ち始めた時に、近所の友人に偶然誘われて入会を決めました。
- A3 月2～3回の練習ですがメンバーで意見を出し合いながら良い演奏が出来るように日々頑張っています。主に、久喜市内のイベント・養護施設の秋祭りなどで演奏させていただいています。
- A4 自身の精神、身体を鍛えるとともに公演を通じて地域の方々と交流することが出来ます。和太鼓を始める前までは人前で話すことなどに恥ずかしい気持ちがありましたが、たくさんの人との関わりを通じて自分の世界が明るく変わった気がします。
- A5 皆さんも和太鼓を始めて、初めの一歩を踏み出してみませんか。



- Q1 地域デビュー『初めの一歩』は何の活動から始まりましたか?
- Q2 始めたきっかけや理由は何ですか?
- Q3 現在どんな活動をしていますか?
- Q4 あなたにとってどんな効果・成果がありますか?
- Q5 地域の方へ地域デビュー推奨の一言をお願いします。

**菱沼 千恵子さん (62歳) 菖蒲地区**

- A1 久喜市・ローズバーク協会主催のローズバーク友好親善訪問団としてホームステイ(10日間)をしました。
- A2 子ども達が中学生の時、この協会の存在を知り、20年位前に友人が訪問団として参加し、「私もいつか時間が取れたら行きたい!」と思いつけていました。
- A3 協会の事務局の一員としての活動の他、市民講座に参加したり、市民まつりや産業祭、男女共同参画誌「そよかぜ」の編集委員や健康づくり食育推進大会の実行委員などボランティア活動に積極的に参加しています。
- A4 市内に新しい知り合いがたくさん出来、一緒に活動する中で、今までの自分にはない新しい世界や思いもよらなかった視点に気づかされ、自分がちょっと成長した感じがして嬉しい。
- A5 地域デビューは新たな学びの場です。諸先輩はとても元気ではずらつとしていて学ぶことがたくさんあります。皆さん親切に受け入れてくださいます。是非、外に目を広げ、地域デビューをしましょう。心身を柔らかく豊かにしてこれからの人生、もっともっと楽しみましょう。



**田村 邦光さん 栗橋地区**

- A1 自治会活動への参加です。
- A2 住民で解決した方がよい問題が発生したため(住宅侵入など窃盗被害が地区内で多発。犯罪防止のための防犯パトロール及び環境パトロール(地域の美化)を開始) これまで社会にお世話になっていたのに、何か社会への貢献ができていないか、自分が地域で役立てられないかを模索していました。
- A3 放課後子ども教室で地域の人と一緒に子ども達に初歩のサイエンスを教えています。自治会諸活動への参加(納涼会、中川クリーン作戦、防犯・環境パトロール等) 音楽活動(歌声教室への参加、地元での歌声広場主催等) エコ活動への参加、夏祭り等ふるさとづくり活動へ実行委員としての参加
- A4 諸活動に参加することにより体を動かし、健康のもと、元気のもとになっているのではないかと思います。
- A5 何よりもまず一度、地域の活動に思い切って飛び込んでみることをお勧めします。きっと、新しい世界が見えてきます。また、新しい自分を発見することでしょう。新しい仲間も出来て、ますます人生が面白くなるのではないのでしょうか。

